

# ～実際に働いて感じたこと 先輩職員の声～



監視部 機動検査部門

【平成30年度選考採用】

## ワークライフバランスを実現できる職場

### テロ対処の知識を活かして

私の前職は陸上自衛官で、約12年間勤務していました。平素の訓練や外国との共同訓練を通じて様々なテロ対処の知識を得るとともに、国民生活の安全・安心を守ることの重要性を感じていました。そのような中、税関の選考採用試験があることを知り、社会悪物品やテロ関連物資の密輸入を水際で防いでいる税関で働きたいと思い、選考採用試験に応募しました。

現在は、監視部機動検査部門に所属し、主に航空貨物の検査業務に従事しています。税関は研修制度が充実しているので、積極的に研修に参加し、業務に関する知識を習得したいと思います。

### 仕事と家庭の両立

初出勤はかなり緊張しましたが、上司や先輩、同僚が親切ですぐに職場に馴染むことができました。職場で分からないことがあっても周りの方が丁寧に教えてくれますし、情報も共有されるため、選考採用の私でも業務に必要な知識を短期間で習得することが出来ました。また、ワークライフバランスの充実を推進しており、娘が生まれた時には、育児休業を3か月取得し、家族との大切な時間を過ごすことができました。職場復帰後、娘が急に発熱した時には休暇を取得することができ、理解のある職場でとても助かっています。

今後は、前職の経験を活かしながら、チームの一員として、密輸阻止に向けた効果的な検査を実施していきたいと思います。将来、娘が「お父さんみたいな税関職員になりたい」と言ってくれるような職員になるのが、私の目標です。



調査部 審理部門

【令和元年度選考採用】

## 多岐に渡る業務で成長できる職場

### 貿易の最前線で活躍できることが魅力

前職の警察業務では、組織犯罪の末端を担う外国人を相手にすることも多く、そうした経験の中で、国際的な職場であり、かつ、貿易の最前線である税関の取締りに従事することで、犯罪組織に対しより大きなダメージを与えることができるのではないかと考え、税関の選考採用試験に応募させて頂きました。

安全・安心な社会の実現のために水際で国に貢献できることは、税関にしかない重要な役割であり、大きな魅力だと考えています。

### 終わらない勉強の日々

採用後は羽田空港の旅具通関部門を経て、現在の審理部門で密輸事件の犯則調査を行っています。犯則調査では、前職の業務と共通している部分もありますが、税関独自の調査や水際ならではの情報活用等、日々学ぶことも多岐に亘っており、管理者である統括官をはじめとした先輩職員の方々のサポートを受けつつ、新鮮な気持ちで取り組むことができます。

また、税関は勤務環境が非常に良く整えられており、勤務形態の柔軟性や子育て支援の施策等、ワークライフバランスの充実に非常に力を入れていて職員への配慮が行き届いている組織だということを感じています。

税関業務は非常に幅広いため、学ぶべきことはまだまだ山積みですが、今後も犯則調査の分野で経験を積み、スキルを高めて、これまで培った経験と併せて税関の使命遂行に貢献できるよう努めていきたいと考えています。



羽田税関支署 旅具通関部門

【令和元年度選考採用】

## コミュニケーション活発な温かい職場

### 「安全・安心な社会の実現」のために

税関に入関する前は、大井ふ頭のコンテナターミナル内で約17年間、港湾荷役業に従事しておりました。

入関前からコンテナターミナルで、税関の取締業務を実際に目にすることがあり、世の中の「安全・安心な社会の実現」のために昼夜問わずに従事している姿を拝見し、私もその一翼を担えたらと思い、選考採用試験に応募しました。

### 班内のコミュニケーションを大事に

選考採用の私に対しても分け隔てなく、温かく接してくれます。班単位で業務を行うことが多く、コミュニケーションを図り、協力して業務に取り組んでいます。

税関の業務は多岐に渡るので、学ぶことがとても多いですが、様々な研修やフォローアップが多くあるので、安心して業務に取り組むことができました。

まだまだ経験は浅いですが、自己研鑽と日々の業務を確実に行之、選考採用の職員としての視点や経験を活かして「安全・安心な社会の実現」に貢献できるように突き進んでいきたいと思います。